

- 大阪府では、野生動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出や、自然環境教育を進めるため、「生物多様性保全基金」を設置しています。
- 令和6年度は、府内における生物多様性の保全を進めるべく、普及啓発用のウェブサイト「生物多様性くらしナビ まいのちosaka」を開設しました。
- 府の「生物多様性ホットスポット」(※1)である「多奈川ビオトープ」(岬町)における保全活動・自然観察会開催に取り組みました。
- また、特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策フォーラムや防除研修会の開催など、生物多様性に大きな影響を及ぼす特定外来生物の防除も推進しました。

※1：希少な野生動植物が生息・生育し、種の多様性が高い地域

1. 生物多様性についての普及啓発

- 楽しみながら生物多様性に関する行動について、分かりやすく知ることができるウェブサイト「[生物多様性くらしナビ まいのちosaka](#)」を開設しました。
- 生物多様性の保全に積極的に取り組むことを宣言いただいた「おおさか生物多様性応援宣言」登録企業・団体等と連携し、生物多様性の普及啓発に取り組みました。(R7.3末時点応援宣言登録者数：111企業・団体)

■ ウェブサイト「生物多様性くらしナビ まいのちosaka」の開設

・幅広い府民の方に生物多様性について理解・行動いただくため、日常生活の場面(「食べる」「暮らす」「働く」等)における生物多様性との繋がりを紹介するウェブサイトを開設しました。

【コンテンツ紹介】

まいのち行動	日常の中で出来る、生物多様性配慮行動を場面別に紹介
まいのち情報	府内で生物多様性配慮に関する企業取組や店舗、商品を掲載
まいのち度チェック	設問に答えて、普段の生物多様性に関する行動の度合をチェックできる診断ツール
カレンダー	府内の生物多様性関連イベント情報をカレンダーにてお知らせ



まいのちPRポスター

■ 応援宣言登録者や府内の生物多様性関連施設と連携した普及啓発

・大阪市立自然史博物館のイベントでは、パネル展示による生き物クイズを通して外来種問題を発信しました。

・その他、「てんしば」や大泉緑地におけるイベントでは、さかなつりゲームを通して生物多様性普及啓発に取り組みました。



生き物クイズの様子



「在来種」と「外来種」のさかなつりの様子

2. 多奈川ビオトープ(岬町)における保全活動

- 毎月の保全活動や7回の自然観察会等を開催し、延べ140名以上の府民の方にご参加いただきました。

・多奈川ビオトープは、「関西空港二期事業」の土砂採取場所跡地に整備された「多奈川地区多目的公園」内にあります。

・大阪府では、かつて豊かな自然環境の中で暮らしていた生き物たちを呼び戻そうと、地元市町村やボランティアの皆様等と連携し、湿地や草地の創出・維持管理等に取り組んでいます。



多奈川ビオトープの様子



自然観察会の様子

・環境省「自然共生サイト」に認定されました (R6.3)

3. 特定外来生物(※2)の防除推進

- 府内29市町村(R7.3末時点)に被害が拡大しているクビアカツヤカミキリについて防除推進を実施しました。

■ クビアカツヤカミキリ普及啓発チラシ作成

■ クビアカツヤカミキリ対策フォーラム開催 (R6.7開催)

・防除技術や事例についてフォーラムを開催しました。(参加者130名)



特定外来生物
クビアカツヤカミキリ



会場の様子



普及啓発チラシ

※2：外来生物法で指定された、外来生物(海外起源の外来種)であって、従来の生態系や人間に及ぼす被害が大きい生物のこと。

